

狙い

●交通まちづくり「黒部モデル」とは

- ▶ 地方小都市における公共交通網の刷新
- ▶ 暮らしの向上と企業活力の発揮を支援する黒部らしい公共交通網
- ▶ 大学の知見を活かした産官学共同での展開
- ▶ 上質な住宅供給、高質な雇用機会の確保を支える、暮らしやすいまちづくりに貢献するモビリティ環境の提供

将来イメージ

●交通まちづくり「黒部モデル」の形成

- ▶ 既存の公共交通網に加えて新たな交通網を張り巡らし、高齢者、子ども、大都市からの移住者、定住者そして観光客など、誰もが自由に移動し活動できる都市空間の実現
- ▶ 小さな公共交通とのベストミックスによる黒部に合った事業展開
- ▶ 目指すは官民共同運行(SPC)

主要事業

調査

- ・住民移動の正確でダイナミックな把握
→昨年度調査をもとに詳細分析し見直し方針の検討
- ・通勤バスの有効活用との適正サービス内容の検討
→本格運行に向け調査・検討
- ・小さな公共交通の導入可能性調査
→地域への実践導入へ向け、ワークショップ等の開催により詳細検討

整備

- ・モビリティハブの設計・設置・運営
→継続して設置・運営を検討し、公共自転車(ちよいのり)の配備検討
- ・公共交通のブランディング戦略の実施
→昨年度取り組みの継続実施
- ・ゾーン運賃制度の検討、実証
→市内交通網の見直し方針と連動して検討

ロードマップ (平成28年度～平成31年度)

	平成28年度				29年度	30年度			31年度		
移動履歴調査・交通手段選択モデル構築	調査設計	準備	調査	解析	詳細分析・交通手段選択モデルの構築						
次世代型交通システムの実証実験	開発	準備	実験1	検証	H30実証実験に向けた市民ニーズ把握・条件整理・実施計画検討	準備・地元調整	実証実験	検証	次世代交通システムの導入に向けた計画策定		
モビリティハブの設計・設置	基本設計	実施設計	施工		モビリティハブ機能の充実(ちよいのり黒部)	モビリティハブの増設・ちよいのり黒部の増車			モビリティハブの増設・ちよいのり黒部の増車		
公共交通の官民共同運行検討 ゾーン制運賃検討	計画の検討			南北循環線社会実験	本格運行開始	交通手段選択モデルを活用した南北循環線の収支改善・最適化を検討 成功路線化に向けた路線の再編・改善を実施					
ワンコインプロジェクトの支援					南北循環線利用者及び沿線住民アンケート調査実施						
利用促進事業	モビリティマネジメント・ブランディング(体験乗車会の開催、ニュースレター作成、ホームページ・テレビ・ラジオ等を通じた啓発活動)										